

議会報告会会議録

1 開 会 日	平成27年 5月16日（土）午後 3時00分 開会 午後 4時30分 閉会
2 場 所	国府支所 2階 第1・2会議室
3 出席議員	奥津勝子議長 （開会あいさつ） 高橋英俊副議長 （閉会あいさつ） （第1班） 渡辺順子議員 （司会進行） 二宮加寿子議員 （平成27年度予算のおもな審査内容について） 坂田よう子議員 （ ） 吉川重雄議員 （ ） 高橋富美子議員 （介護保険条例の改正について） （第2班） 竹内恵美子議員 （記 録） 鈴木京子議員 （ ） 竹内恵美子議員 （会場受付） 鈴木京子議員 （ ） 高橋英俊副議長 （マイク設置等） 片野哲生議員 （写真撮影） 関 威國議員 （パワーポイント操作）
4 参加者	25人
5 報告事項	（1）平成27年度予算のおもな審査内容について （2）介護保険条例の改正について （3）意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、各報告担当議員から予算審査や大磯町介護保険条例の改正についてパワーポイントを使い報告し、質疑応答を行った。

(1) あいさつ・・・奥津勝子議長

議会報告会を開催してから6年目を迎える。今年度は平成27年度予算の審査における議論の経過・結果や介護保険条例の改正について議会としての考え方を報告する。

皆様と自由な意見交換を行いたいと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。質問によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点をご了解いただきたい。町からの回答は、後日報告させていただく。

(2) 平成27年度予算のおもな審査内容報告

・・・二宮加寿子議員、坂田よう子議員、吉川重雄議員

『議会だより大磯』第177号及び議会報告会資料に基づき、平成27年度予算に対する予算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

◎主な質疑

問： 議会報告会資料中、グラフの数値に単位の記載がない。また、字が小さく見難い、改善を願う。

答： 今後、改善させていただく。

問： 下水道事業の支出が増えているが、大磯町の公共下水道の整備状況はどのくらいか。また、虫窪などは公共下水道の計画があるのか。

答： 大磯町の公共下水道事業は、目標年次を平成32年度とした全体計画の中で事業認可を受け整備が進められている。今年度は、国府新宿を中心に、汚水枝管と雨水管の整備が行われることになっている。なお、虫窪など一部の地域は公共下水道の計画がないため、合併処理浄化槽での対応となる。

(3) 介護保険条例の改正について報告

・・・高橋富美子議員

大磯町介護保険条例の改正内容、審議内容について報告。

◎主な質疑

問： 大磯町の介護保険料が26%引き上げとなり、県内で一番高い保険料に位置付けられたことを新聞記事で知った。標準的な保険料に位置付けられているのなら納得もするが、なぜ今回これほどまでに保険料が上がってしまったのか。

答： 保険料の値上げ幅は県下で一番だったが、保険料が一番高いわけではない。主な保険料の値上がりの原因だが、高齢者率が高いこと、介護サービスの利用者が多いことが挙げられる。また、財政面では、取崩しできる基金がなかったこと、財政安定化基金等交付金を使わなかったことが挙げられる。高齢化と介護サービス利用者の関係と、財政上の2つの基金の関係で、このような状況になっている。

問： 私も高齢者の一員になりつつあるので、介護サービスを受ける側として当然沢山のメリットがあった方が良いことは分かる。ただ、財政状況が苦しい中、他市町よりも沢山の介護サービスを提供するのは如何なものかと思う。受ける側にとって、例えば、介護サービスを受けることのできる量は減るが、保険料を下げるなど、納得できる保険料での支援を希望する。

答： このような状態になったことについては問題が多いと考えている。ただ、これは大磯町だけの問題ではなく、介護保険制度について問題点を提起してもらったと思っている。高齢化はどこでも共通の問題なので、議会として、もっと真剣に、財源をどうするのかを含め考えていく大きなポイントになったと感じている。議会として国に意見書をあげることも議論されているところである。

(4) 意見交換

意見交換を実施。

◎主な質疑

問： 大磯町立中学校給食に関する懇話会の委員に任命され、1年間学校給食について勉強討論した。「中学校給食は自校給食で」と懇話会で結論を出したが、町が出した結論はデリバリー給食とお茶を濁した形になってしまった。町の決定については、決定に至るまでの経過報告が足りないと感じる。給食については、広報紙での周知ではなく、学校に来て、なぜデリバリー給食にしたか説明すべきだ。

答： 町に申し伝える。

子育てにやさしい町、日本一住みたい町にするとは、具体的にどのような町にするのか。我々からすれば答えはわかっていて、学校にお金を掛けなくてはいけないと思う。子どもを増やす為には、教育費を増やさないとダメだ。駐輪場に5億円掛かると聞く。吉田邸も4.5億円掛かる。吉田邸をきれいにしたからといって、人口が増えるとは思わない。町はプライオリティを明確に示すべきだ。

答： 町に申し伝える。

問： 自治基本条例見直しにあたり検討会が開かれるようだが、自治基本条例を本当に活かそうと思うなら、参加してよかったと思われる検討会にしてほしい。参加したが、少しも話を聞いてもらえないといったことをほかの検討会で聞く。まずそれを改めないと、町民がつくる町政など絵空事のように聞こえる。

答： 町に申し伝える。

問： 平成26年度第2回議会報告会において、月京の上り線バス停（主要地方道相模原・大磯線）は、利用者が多く歩道が狭いため危険な旨を指摘したが、現在の進捗状況はどうなっているのか。

答： 町は道路管理者である県平塚土木事務所に道路拡幅の可能性を確認しており、県の用地があることが確認できたとの報告を受けている。報告の中で、「拡幅にあたり、構造的な部分、工事費用の課題もあるが、地元の意見や意向等を十分に集約した上、県と協議を行っていく必要がある」としている。その後の進捗を確認するとともに、県議会議員にもお願いし、検討していただく。

問： 道路の雨水排水枡に木の葉が積もり、葉っぱで満杯になる場所がある。年に何回かスコップで葉っぱをかき出すが、専用道具でないため効率が悪い。町でスコップを貸し出してもらえないか。

答： 町に申し送りをし、後日回答をいただくようにする。

問： 城山トンネル先に、赤錆で穴が開いているグレーチングがある。とても危険に感じる。道路パトロールの際、グレーチングについても関心を持ってチェックしてほしい。

答： 町に申し送りをし、後日回答をいただくようにする。

問： 大磯運動公園を有効に活用するためには、マリア道の整備が必要だ。マリア道をできるだけ早く整備し、大磯運動公園を使い易くしてほしい。

答： 町に申し送りをし、後日回答をいただくようにする。

問： 埼玉県のある町は給食費や教材費を無料にし、若い夫婦の定住促進に結びつけていると聞く。この町だけでなく、同じようなことを行っている自治体は多い。小さな子が結婚して大きくなった時に、住みやすい大磯町であってほしいと常に思っている。給食費や教材費を無料にすれば住みやすくなるといった簡単な話しではないと思うが、子ども達が住みやすい町にしてほしい。

答： 町に申し送りをし、後日回答をいただくようにする。

(5) 閉 会
